第４０回大垣フェンシング大会における開催ガイドライン

**開催における感染防止対策**

**全般的な事項**

□感染防止のためチェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付窓口等）に掲示する。

□各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。

□万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を受けた書面について、期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存しておく。

□イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合、施設の立地する自治体への報告。

□新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化により関係機関からイベント中止等の要請があった場合は大会を中止することもある。

 **当日の参加受付時の対応**

□受付窓口には、手指消毒剤を設置する。

□発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。（入場時、非接触型体温計にて検温し、発熱者を特定し入場を制限する）

□人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。

□受付を行うスタッフには、マスクを着用させ、一定距離を保たせる。

□参加者から以下の事項を記載した書面の提出を受ける。

* 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
* 利用当日の体温
* 利用前２週間における以下の事項の有無

・平熱を超える発熱（おおむね37度５分以上）

・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

・だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）

・嗅覚や味覚の異常

・体が重く感じる、疲れやすい等

・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と

されている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

 **大会委員会が準備すべき事項**

**手洗い場所**

□手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する。

□「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

□手洗い後に手を拭くための布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。

□アルコール等の手指消毒剤を用意する。

**更衣室、休憩・待機スペース**

□広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）

□室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる箇所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する。

□常に換気扇を回す、換気用の小窓を開けるなど換気に配慮する。

□スタッフが使用する際は、入退室時に手洗いをする。

□アルコール等の手指消毒剤を用意する。

**洗面所**

□トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる箇所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。

□トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

□手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する。

□「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

□手洗い後に手を拭くための布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。

**飲食物の提供時**

□参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。

□スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や紙コップで提供する。

□飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させる。

**観客の管理**

□無観客とする。

　但し、選手1名につきコーチとして保護者等1名をつけること可能。

**スポーツイベント会場**

□換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。

□換気設備を適切に運転する。

□定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。

□試合後の（椅子等）消毒は選手が試合後に行う。

**ゴミの廃棄**

□鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて縛り、ゴミを回収する人は、マスクと手袋を着用する。

□マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸を使い流水で手を洗い、手指消毒する。

**参加者が遵守すべき事項**

□以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）

* 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
* 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
* 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない場合や会話をする場合にはマスクを着用すること）

□こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

□他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

□イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと

□感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

□イベント終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

□イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

 **参加者が今大会に参加する際の留意点**

**アップおよび武器検査等手続き中の注意点**

□原則、選手・コーチ・スタッフはマスク（感染防止用）を着用する

□他の選手やコーチ、スタッフ等との距離（できるだけ２m以上）を確保する。

**競技中の注意点**

□原則、コーチはマスク（感染防止用）の着用する

□原則、選手は競技中に発声してはいけない

□選手は、審判への説明や抗議のために発声することが出来るが、距離（できるだけ２m以上）を確保すること

□選手は競技終了時に相手選手や審判、コーチと握手等の接触は行わない

□原則、審判はフェイスガードとマスク（感染防止用）を着用する

**その他の注意点**

□フェンシングウェアやマスク、剣等の用具を貸与あるいは共有しない

□タオルの共用はしない

□指定場所以外で飲食を行わず、周囲の人とできるだけ距離を取って対面を避け、会話は控えめにする

□ドリンクの回し飲みはしない

□飲みきれなかったドリンクを指定場所以外に捨てない

□ユニホーム、ジャケット、グローブで顔をぬぐわない。

□道具の清拭を行う。

□靴裏の消毒を行う。

□その他、感染症予防対策については、令和２年５月２６日（公財）日本フェンシング協会「フェンシング競技向けガイドライン」に記載